

光照院たより

発行：(宗) 光照院
発行日：令和7年5月8日
台東区清川1-8-11
TEL. 03-3872-8487
FAX. 03-3875-5485



授戒会の様子。みなさま、輪袈裟とお数珠、浄衣に身を包み、一生懸命に受けてくださいました。

「一日授戒会」の開筵

住職 吉水岳彦

今年2月2日、浅草山
谷光照院では、約100
年ぶりとなる授戒会を
開筵することができま
した。

ちなみに授戒会とは、
苦しみ多き理不尽なこ
の世界を生きていくう
えで、慈愛を心に互いに
尊重しあい、学び合い、

助け合って生きていく
真の佛弟子となるべく、
お釈迦さまから直接に
「戒」という生き方を授
けていただき、これまで
の自分から生まれ変わ
る儀式です。

振り返れば、授戒会開
筵には不思議なお導き
があったように思われ
ます。およそ1年半前に
わたしがとある場所で
参加した七日間別時念
佛会の最中のこと。

4日目の夜のお念佛
を称えている時から、自
ら真の佛弟子となり、同
時に、多くの人にも自覚
的な佛教徒になつてい
ただくために力を尽く
すのが、自分の今生で
つとめであるとの強い
思いがわき起こったの
です。最終日には、阿弥
陀如来さまに授戒会を

行うことを密かに心に
誓っていました。

その後すぐに親しい
僧侶たちへ相談をしな
がら、具体的な実施のイ
メージを固めてゆき、準
備を進めてまいりまし
た。

如来さまのお導きで
しようか。そのように少
しずつ準備をしている
と、不思議なことに、授
戒に必要な新たな資料
が次々に出版されるな
ど、背中を押されるよう
に準備が進んでいくよ
うになりました。

さらに、準備をしてい
るうちから、「ぜひ受戒
したいから、日程が決ま
り次第、お電話くださ
い！」とおっしゃられる
方まで次々に現れて：
。授戒会を開筵しよう
と願う気持ちも日増し
に強くなり、準備の手に
も力が入りました。

授戒会のご本尊や受
者の輪袈裟などを用意

しつつ、自らも戒律を学び直し、僧侶としての生活を調べていくことは、自身が僧侶として成長するためにも大切な時間を感じられました。

授戒会の開庭前日には、親しい僧侶たちが前日から駆けつけてくれるなど、多くの助力を得て、ついに当日を迎えることができました。

わたしは戒を授けてくださるお釈迦さまや文殊菩薩さまたちのご来臨を懇請し、まことに不遜なことながら、お釈迦さまのお代理として、精一杯、お釈迦さまの言葉や2500年間伝えられ続けてきた「戒」を佛教的な生活習慣「戒」をお伝えさせていただきました。

また、参加してくださった日本人とベトナム人、合わせて18名の受者には、これからの人生をどのようなように生きていき

たいか、その願いを一人ひとりから伺い、一緒に戒名を決めました。

戒名とは、本来、死者にのみ名づけられるものではないと、これからの人生を、お釈迦さまのようなやさしい心で力強く生きることが誓った佛弟子の名です。

開庭当日、受者のみなさまは、朝8時半から夕方18時までの授戒会をニコニコしながら受けられ、お戒名を授かった時には、本当に大喜びしてくださいました。

新たな佛弟子、すなわち佛陀の末裔として生まれ変わることが、これほどまで喜びに満ちたものになるとは……。

お釈迦さまから戒を授かり、佛弟子としての名前を得て、新たな人生の一步を踏み出すみなさまの顔は、本当に美しく輝いて見えました。世の中に、こんなにも嬉

しいことがあるものかと、いまも心は歓喜でいっぱいです。

佛陀と同じさとりを得ることは、今生ではかなわないでしょう。それでも、生きているうちから佛陀たちの歩んだ道を進み、諸々の佛陀たちや極樂の菩薩たちの御心にかなうように生き、極樂に向かつて歩めたなら、こんなに安心で幸せなことはないでしょう。

理不尽で不安多き世であればこそ、自分の生きる道筋も、生き方も、善悪の基準もハッキリさせることで、とても生きやすくなります。

お念佛の声のうちに阿弥陀如来さまの寄り添いと慈光の導きを得、お釈迦さまの戒光に照らされて生きる道は、必ずや明るく正しく仲良く人生を歩めるようにしていただけます。

そんな尊い佛道に入るための門を、もう閉じることがないように、光照院では、今後も定期的に授戒会を行います。

次回の日程は9月7日(日)を予定しています。ご興味のある方は、遠慮なくお声掛けくださいませ。

本堂耐震改修工事

東日本大震災以降、全国各地で続く災害を鑑みて、一昨年、本堂の耐震調査工事を行ったところ、本堂背面の壁に大

光照院本堂耐震改修工事等の収支報告 (表1)

・檀信徒等ご寄進 (R7. 4. 30 まで)	¥18, 700, 000
・住職寄進	¥500, 000
・光照院負担額	¥17, 334, 560
収入の合計	¥36, 534, 560
・本堂耐震改修工事費合計	¥33, 934, 560
(内訳) 玄関屋根葺き直し等工事	¥583, 000
耐震調査工事	¥1, 977, 800
光照院本堂改修工事費	¥25, 102, 000
本堂内陣床・玄関上框等工事	¥3, 421, 000
門扉塗装・鍵交換等工事	¥2, 571, 800
玄関ガラス交換等	¥244, 200
トイレドア等工事	¥34, 760
・総大本山改修護持費	¥2, 600, 000
支出の合計	¥36, 534, 560

大きな亀裂があり、長年の漏水による天井や柱、床下の木材の腐食などが見つかりました。この状態で大きな地震がきて

しまようと、本堂は倒壊し、建直しに長い年月と莫大な費用がかかることとなります。そして、それらは、檀信徒のみならず、まにも大きな負担を強

いることとなります。そこで、昨年、光照院檀信徒総代・世話人のみなさまにご相談を申し上げ、急ぎよ本堂耐震改修工事のためのご寄進を募

ることにいたしました。誠にありがたいことに、物価高騰で大変な状況にもかかわらず、多くの檀信徒のみなさまより多くのお浄財を頂戴することができました。おかげさまで、令和7年春にすべての工事を終了するとともに、(表1)のように工事費用のお支払いも完了いたしま

した。ここに光照院住職、寺族、総代、世話人一同、みなさまに深く感謝を申し上げます。

加えて、光照院に割り当てられていた260万円にのぼる総大本山改修維持費なども納めることができました。重ねて御礼を申し上げます。合掌

施餓鬼会について

今年も6月8日(日)に檀信徒の皆様や関係寺院住職をお招きして、施餓鬼法要を厳修する予定です。

日程

- 6月8日(日)
 - 13時 法話
 - 14時 法要
 - 15時 終了

※法要の出欠と塔婆の申込、ご参詣の人数を同封のハガキ

にて必ずお知らせください。

※当日の昼食のご用意はございません。

盂蘭盆会のご案内

光照院本堂で行うお盆の御回向の日時を定めました。ご希望の方は6月末日までに(03-3387218487)へご連絡下さいませ。お盆のお塔婆もあわせてお申し付け下さい。

盂蘭盆会日時

- 7月12日(土)
 - 13時半・15時
- 7月13日(日)
 - 11時・13時・15時

※ご出席の場合は、ご回向する御位牌を必ずご持参下さい。

※他の檀信徒との合同の盆供養です。手指消毒とマスク着用にご協力をお願いします。

お念佛会

光照院では、毎月お念佛とお写経を行う会を行っております。開催日は、基本的には毎月第3土曜日の15時から2時

間を予定しています。光照院の檀信徒に限らず、大切な人を亡くしたさまざまな方がご参加くださっています。

現在はオンライン参加と現地参加の2つの方法で続けております。オンラインでのご参加は、夕方16時半よりYoutubeの「為先会のお念佛」というチャンネルをご利用ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

お念佛会の流れ

- 14時半 茶話会
- 15時 写経
- 16時半 法話
- 17時 念佛回向
- 18時頃 終了

※お写経は、現地参加の人のみを対象にしています。

光照院行事予定

- 2025年
 - 6月8日(日) 施餓鬼会法要
 - 7月12・16日 お盆(新暦)
 - 8月13・16日 お盆(旧暦)
 - 9月7日(日) 一日授戒会
 - 9月20・26日 秋のお彼岸
 - 11月9日(日) 十夜放生会法要
- ※お盆にご自宅をお訪ねして念佛回向を行う柵経は、都内であれば7月9日・16日、東京以外の地域であれば8月8日・16日に行います。新盆を迎えるお宅は、少しお早めにお寺にご都合を教えてください。宜しく願い申し上げます。

光照院に麒麟がくる

戦後80年を迎える今年の春彼岸、檀信徒の立岩義昭さまより、珍しい麒麟像をご寄進いただきました。

獣の王でありながら、虫一匹も殺さず、草花を踏まない麒麟は、不殺生の象徴です。だから、心やさしい麒麟が生きられるような地は、きっと平和に違いないとのことで平和の象徴としてまつられるようになりました。



立岩家より寄進された麒麟像

立岩家のご先祖は、麒麟像を銃や弾薬等にしないため、庭の土の中に埋めて守り、戦後80年間、大切に見守ってきました。そして、今年、より多くの人々に愚かな戦争を繰り返してはなげぬ不殺生と平和の精神を広く伝えてほしいと、光照院にご寄進くださいました。お寺にお越しの折には、ぜひ麒麟に触れ、そのやさしい心にも触れてください。(住)

日頃の支縁に御礼

日頃より、光照院や住職の行う生活困窮者や子どもへの支援活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまのご協力のおかげで、昨年からの続く米不足の状況の中にも、なんとか毎月一度は困窮世帯や学習支援に来る子どもたちにお米等の食品をお渡しすることができています。この場をお借りして感謝を申し上げます。合掌



編集後記

能登半島地震発災から一年以上が経過しましたが、いまだ現地の状況は厳しく、復興は程遠いと感じます。しかし、どんな環境でも子ども

たちは、遊びを忘れません。ポランティアと共にチョコフォンデュやバリンアート等を提供しに能登へ行った折、笑顔で走りまわる子どもらの姿と声が、地域の人々に笑顔を生み出しているのを目にして、とてもあたたかい気持ちにさせてもらいました。



珠洲市における活動の様子

お佛具料ご寄進

- 爲 穩譽仁壽一行居士三回忌追善菩提 一金壺拾萬圓
施主 濱野イツ殿・満雄殿
- 爲 無量院殿浄譽登羅大居士三十七回忌追善菩提 一金壺拾萬圓
施主 久保田將弘殿
- 爲 眞法淑往清大姉七回忌追善菩提 麒麟像・一金壺拾萬圓
施主 立岩義昭殿